

「川崎市多摩病院債」購入者アンケート結果

市債の個人消化・公募化を通じた資金調達手段の多様化、市民の市政への参画意識の高揚を図るために、市立多摩病院整備事業を対象にした住民参加型ミニ市場公募債「川崎市多摩病院債」(20億円)を平成17年11月22日から12月2日にかけて市内在住または在勤の方に対して募集し、12月14日に発行したところですが、そのご購入者アンケートの結果がまとまりました。

複数回答及び無回答があるため、各質問の回答数の合計はアンケート回答者数と一致しません。

アンケート回収状況

販売件数	回答数	回収率
1,174	649	55.3%

1. 男女別では女性の割合が6割と高くなっています。

購入者アンケート回答総数649人の男女割合は、女性が407人(63%)、男性が242人(37%)となっており、女性購入者の割合が高くなっています。(前回の市民健康の森債と男女比率は同じになっています。)

2. 世代別では60歳代から70歳代の割合が約6割と高くなっています。

世代別に見ますと、60歳代が194人(30%)で最も多く、70歳代の176人(27%)と合わせますと全体の約6割を占めています。

男女別・世代別構成

(件)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
男性	1	5	8	26	39	68	79	16	242
女性	1	11	30	41	86	126	97	15	407
計	2	16	38	67	125	194	176	31	649

3. 居住地別では市の南部地域と北部地域の方が多い傾向にあります。

居住地別に見ますと、多摩区が138人(23%)、川崎区が125人(21%)、幸区が79人(13%)、中原区が77人(13%)の順で多くなっています。人口割合でも多摩区の比率が最も高くなっており、多摩病院に対する地元市民の関心の高さが伺えます。

居住地別構成

(件)

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	計	川崎市外
購入件数	125	79	77	59	52	138	59	589	54
人口(万人)	20	14	21	20	21	21	15	132	
割合(%)	0.06%	0.06%	0.04%	0.03%	0.02%	0.07%	0.04%	0.04%	

4. 購入金額別では100万円以下の購入者の割合が54%と高くなっています。(前回の市民健康の森債と比率は同じになっています。)

購入金額別に見ますと、100万円以下が346人(54%)で圧倒的に多く、100万円超200万円以下の人が142人(22%)で次に多くなっています。これらを合わせた200万円以下の購入者の割合は全体の8割近くを占めています。

これは、市債を預貯金代わりに手軽に購入していただけた結果であり、「個人の金融資産の運用方法が多様化してきている中で、このミニ公募債に投資していただく形で、新しい資金の運用先を市民の皆さんに提供する」という発行意義に沿う結果になったと考えています。

5. 一人当たりの平均購入額は146万円で、世代別では50歳代が最も多くなっています。

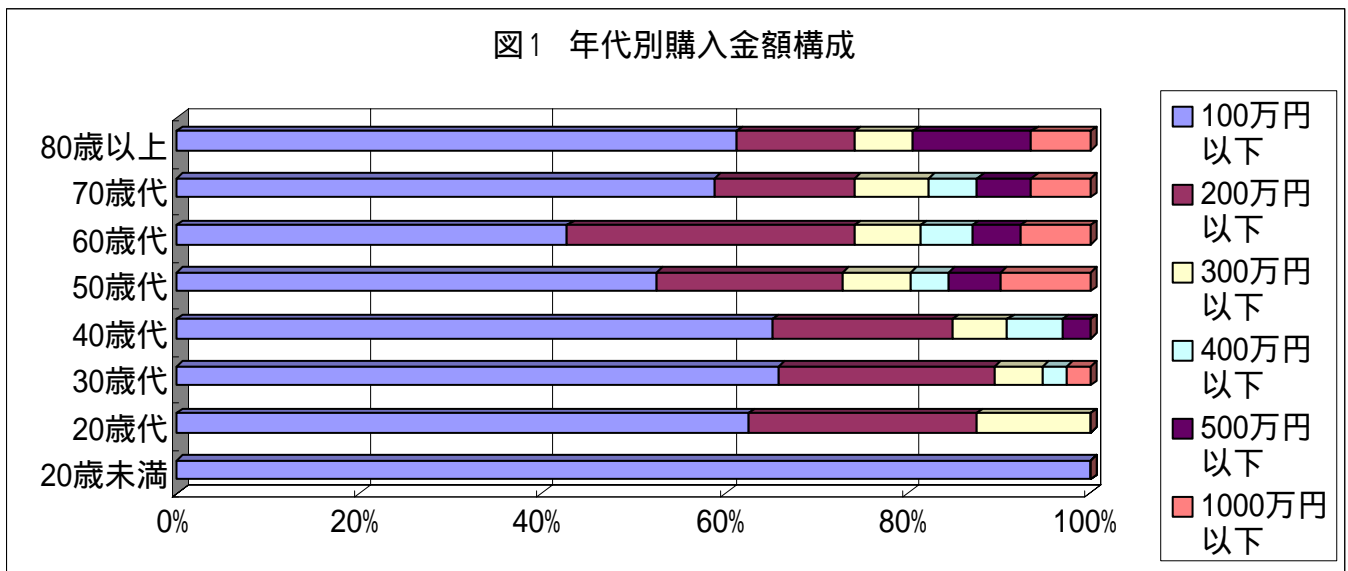
世代別に一人当たりの平均購入額を見ますと、50歳代が最も多くなっていますが、高齢者層の購入金額は総じて多くなっています。

購入金額別構成

(件) (万円)

	100万円以下	200万円以下	300万円以下	400万円以下	500万円以下	1000万円以下	計	平均購入額
20歳未満	2	0	0	0	0	0	2	25
20歳代	10	4	2	0	0	0	16	131
30歳代	25	9	2	1	0	1	38	112
40歳代	43	13	4	4	2	0	66	116
50歳代	64	25	9	5	7	12	122	207
60歳代	83	61	14	11	10	15	194	198
70歳代	100	26	14	9	10	11	170	191
80歳以上	19	4	2	0	4	2	31	190
計	346	142	47	30	33	41	639	146

図1 年代別購入金額構成



6. 購入者のうち7割近い方は、市政だよりと金融機関から情報で購入を決定しています。

「多摩病院債」の募集販売を何で知ったかという質問に対しては、金融機関からの勧誘が全体の35%と最も高くなっており、次いで「市政だより」が30%、新聞記事や今回初めての試みでありましたコミュニティ紙でも一定の効果がありました。

市債の募集を通じたシティセールスや対象事業のPRが今後も重要であるということがわかります。

問. この市債の募集販売を何でお知りになりましたか

(件)

市政だより	金融機関	新聞広告	新聞報道	ポスター・ちらし	コミュニティ紙	インターネット	アベリアビジョン	FM放送
218	252	19	57	22	64	19	1	1

家族・知人等	その他	計
55	10	718

7. 3 割近くの購入者は市が発行するという安心感から購入しています。

349 人(32%)の方が市が発行するという安心感から購入しています。また、「川崎市民だから」が 248 人(22%)、「対象事業への関心」が 226 人(20%)となっており、これらを合わせますと全体の 74%を占めており、単なる金融商品としてだけではなく、市に対する信頼感や愛着、対象事業に対する積極的な関心の高さがわかります。

そして利率が他の預貯金と比べると有利であることを購入動機にした方も 203 人(18%)おり、「市民が市債の購入を通じて資金の供給者となることにより対象事業への関心を高めてもらうとともに、市民との協働と協調による『誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき』をめざす本市の基本理念に対する理解と市政参画意識の高揚を図るというミニ公募債の発行意義に沿う結果となりました。

また、高齢になるほど、購入動機に「有利な利率」よりも「市民であるから」を挙げる割合が多くなっている傾向にあるようです。

問. 特に多摩病院債を選択した理由は何ですか

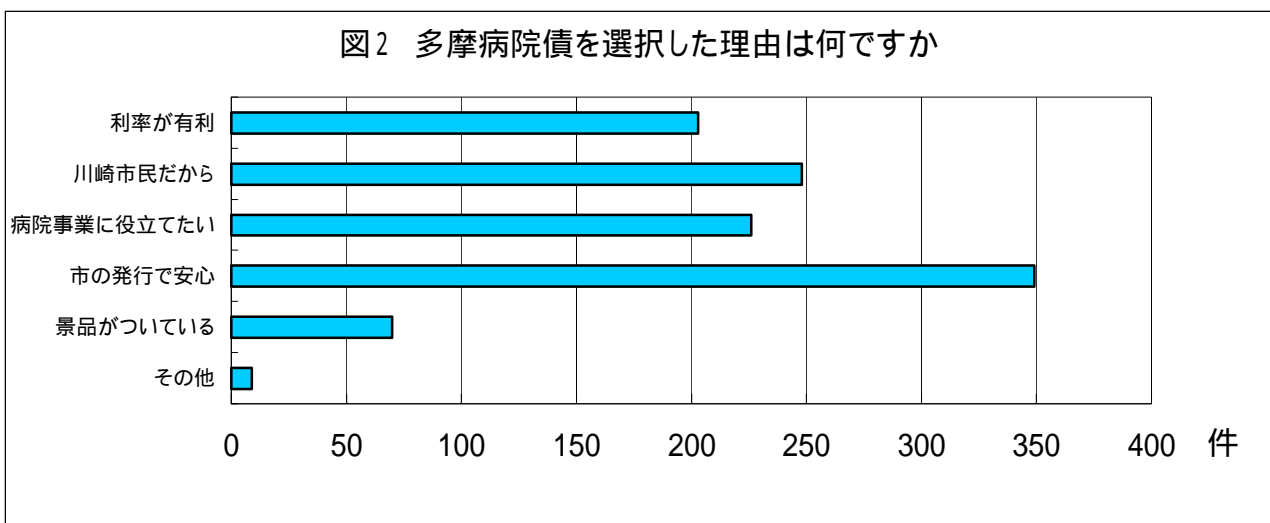
・川崎市民なので	248件
・資金の用途が多摩病院整備事業への活用ということで、自分のお金を役立てたかったから	226件
・市が発行する債券で安心だから	349件
・利率が他の金融商品に比べ有利だと思ったから	203件
・景品[体温計、招待券(抽選)]がついているから	70件
・その他(地域に貢献できる等)	9件

[年齢別]

(件)

	市民だから	役立てたい	安心	利率が有利	景品	その他	計
20 歳未満	1	0	0	1	1	0	3
20 歳代	4	6	13	5	6	0	34
30 歳代	13	14	23	18	3	1	72
40 歳代	22	16	34	34	12	0	118
50 歳代	43	44	75	43	16	2	223
60 歳代	74	64	96	66	15	5	320
70 歳代	74	69	90	32	15	1	281
80 歳以上	17	13	18	4	2	0	54
計	248	226	349	203	70	9	1,105

図2 多摩病院債を選択した理由は何ですか



8. 金利選好によらない購入者の方もいらっしゃいます。

利率についての質問では「5年もの国債程度」が362人(58%)で最も多く、5年利付国債の利回りを参考にした金利を望まれていることがわかります。

その一方で、「資金使途が明確であれば利率にこだわらない」が100人(16%)、「5年もの定期預金程度」が86人(14%)となっており、市債を金融商品として金利選好で購入するのではなく、市政参画の意味から購入する方も多いことがわかります。

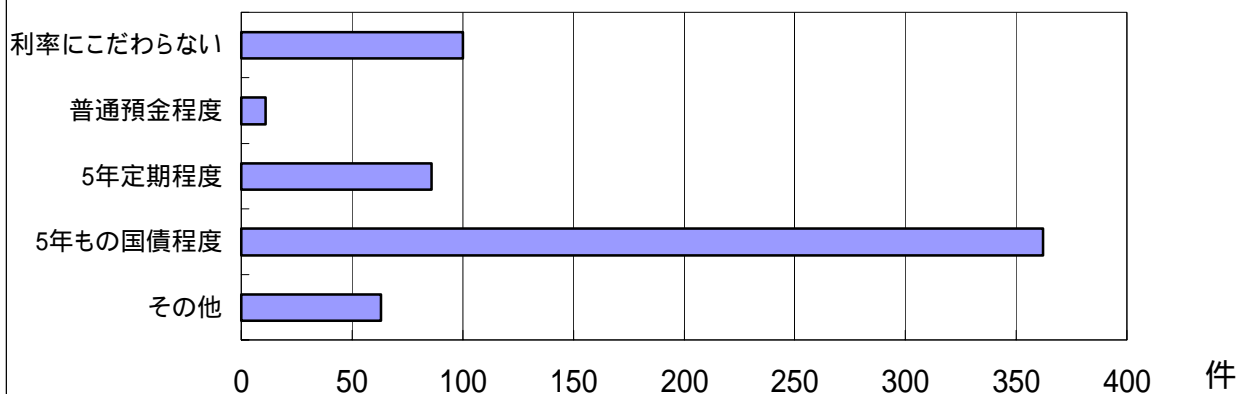
問. 次回は、利率がどの程度なら購入しようと思いますか

・資金使途が明確であれば利率にはこだわらない	100件
・普通預金の利率程度	11件
・5年もの定期預金の利率程度	86件
・5年もの国債の利率程度	362件
・その他(元金保証、国債の利率以上等)	63件

(件)

	利率不問	普通預金	5年定期	5年国債	その他	計
20歳未満	0	0	0	2	0	2
20歳代	0	0	1	12	3	16
30歳代	3	0	9	23	3	38
40歳代	15	1	8	44	4	72
50歳代	19	0	14	71	12	116
60歳代	28	3	24	103	27	185
70歳代	25	6	26	93	14	164
80歳以上	10	1	4	14	0	29
計	100	11	86	362	63	622

図3 次回は利率がどの程度なら購入しようと思いますか



9. 高額の購入限度額設定を希望される方も多くなっています。

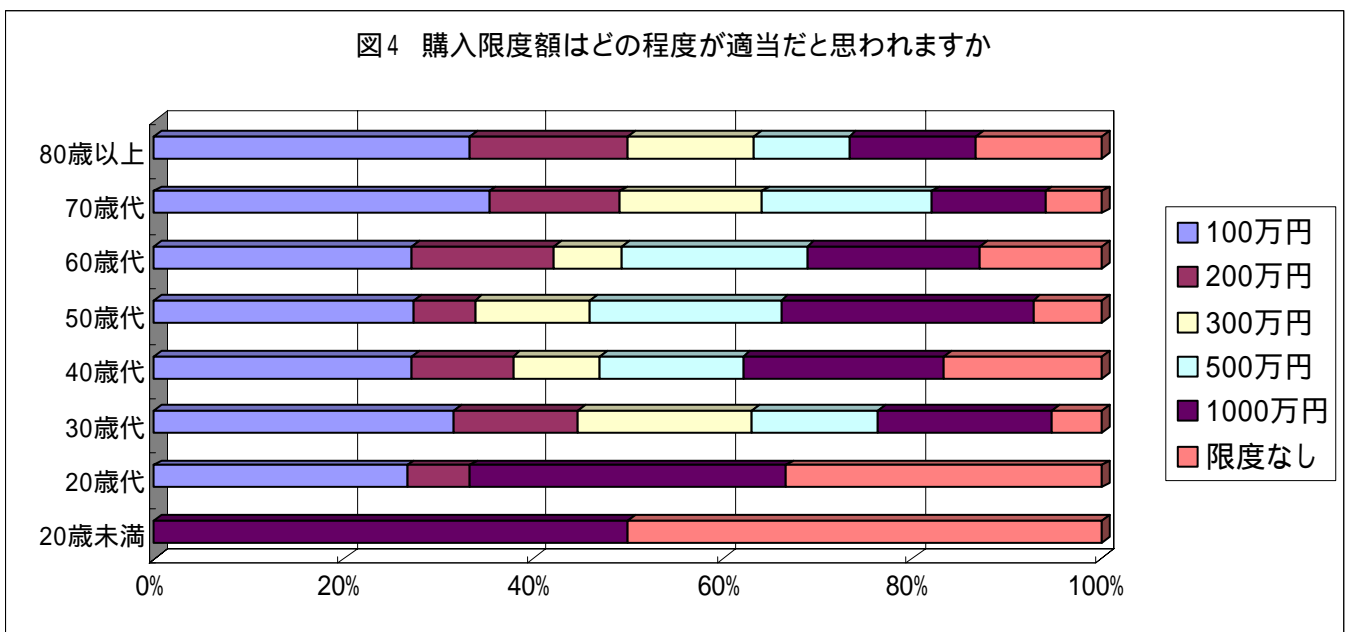
購入限度額についての質問では「100万円まで」が186人(30%)と最も多くなっていますが、次に多い「1000万円まで」の117人(19%)、「限度額なし」という方65人(10%)を加えると182人(29%)となり、高額需要もかなりあることがわかります。

問. 購入限度額はどの程度が適当だと思われますか

(件)

	100万円	200万円	300万円	500万円	1000万円	限度なし	計
20歳未満	0	0	0	0	1	1	2
20歳代	4	1	0	0	5	5	15
30歳代	12	5	7	5	7	2	38
40歳代	18	7	6	10	14	11	66
50歳代	34	8	15	25	33	9	124
60歳代	49	27	13	35	33	23	180
70歳代	59	23	25	30	20	10	167
80歳以上	10	5	4	3	4	4	30
計	186	76	70	108	117	65	622

図4 購入限度額はどの程度が適当だと思われますか



10. 満期年限では「5年」を希望する購入者が約7割を占めています。

満期の年限についての質問では今回と同じ「5年」が435人(70%)で最も多くなっていますが、「3年」が145人(23%)と次いで多く、5年以下では98%とアンケート回答者のほとんどとなり、短期年限に対する希望が多くなっています。

問. 満期の年限はどのくらいが望ましいですか

(件)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
3	9	145	23	435	0	2	0

9年	10年	その他	計
0	9	0	626

1.1. 対象事業としては「福祉、保健、医療等」を希望する購入者が最も多くなっています。

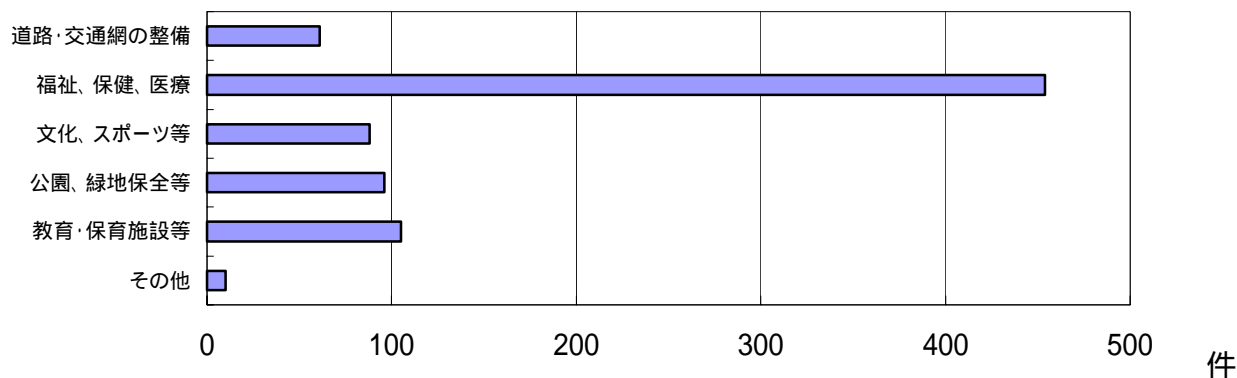
対象事業についての質問では「福祉、保健、医療等」が 454 人(56%)で最も多く、健康に対する市民の関心の高さがうかがえます。

問. 今後どのような事業に資金を活用するのが望ましいですか

・道路、公共交通網等の整備	61件
・福祉、保健、医療等の整備	454件
・文化、スポーツ、地域活動施設等の整備	88件
・公園、緑地保全、生活環境等の整備	96件
・教育、保育施設等の整備	105件
・その他	10件

	道路・交通	福祉・医療	文化・スポーツ	公園・緑地	教育・保育	その他	計
20 歳未満	0	2	0	1	0	0	3
20 歳代	1	12	4	4	4	0	25
30 歳代	3	25	3	9	11	1	52
40 歳代	8	34	22	16	20	0	100
50 歳代	13	95	15	20	20	0	163
60 歳代	15	145	18	19	25	6	228
70 歳代	18	120	25	22	19	3	207
80 歳以上	3	21	1	5	6	0	36
計	61	454	88	96	105	10	814

図5 今後どのような事業に資金を活用することが望ましいですか



12. 購入者のうち3分の2程度の方がこれまで市債購入の経験がない方でした。

川崎市債の購入経験についての質問では「ない」が411人(65%)となっており、そのうち284人が「発行されていることを知らなかった」と回答しています。個人販売促進のためのさらなる広報活動の充実が必要であると考えられます。

問. 以前に、川崎市債を購入されたことはありますか。ない場合、その理由は何ですか。(件)

	ある	ない					計
			利率が低い	手続きが面倒そう	発行を知らなかった	その他	
20歳未満	0	2	0	0	0	1	2
20歳代	1	15	0	1	12	2	16
30歳代	10	28	1	6	20	3	38
40歳代	21	45	4	6	30	5	66
50歳代	28	92	4	13	63	14	120
60歳代	56	133	9	13	89	22	189
70歳代	84	84	13	6	59	8	168
80歳以上	19	12	1	0	11	0	31
計	219	411	32	45	284	55	630

問. 前の質問で、「ない」とお答えの方に伺いますが、その理由は何ですか

・利率が低い	32件
・手続きが面倒そう	45件
・発行されていることを知らなかった	284件
・その他	55件

13. 約半数の購入者が今回の市債募集を通じて「多摩病院」を知りました。

対象事業を知っていたかという質問では「以前から知っていた」が324人(55%)、「市債の募集で初めて知った」が268人(45%)とほぼ同程度の割合でした。市債の募集を通じて「シティセールスや対象事業のPRを行う」ということには一定の効果が認められますが、今後も事業のPRを積極的に行っていく必要があります。

問. 今回開院する「市立多摩病院」のことをご存知でしたか

(件)

	知っていた	初めて知った	計
20歳未満	1	1	2
20歳代	4	10	14
30歳代	21	15	36
40歳代	31	31	62
50歳代	64	56	120
60歳代	101	80	181
70歳代	88	61	149
80歳以上	14	14	28
計	324	268	592